

国土交通大臣

中 野 洋 昌 様

国の施策等に関する 提案・要望書

(令和7年4月)

鳥 取 県

ナショナルサイクルルートの指定について

《提案・要望の内容》

○地域の官民が一体となって環境整備を進めている「鳥取うみなみロード」の早期のナショナルサイクルルート指定について、格段の協力を行うこと。

※国の自転車活用推進計画において、ナショナルサイクルルート制度の活用などサイクルツーリズム推進による観光立国の実現を目指すこととされており、ナショナルサイクルルートの制度創設（令和元年9月）以降、6ルート（しまなみ海道 等）が指定されている。

<参考>

○当県の取組

（１）鳥取県サイクルツーリズム推進・連携会議の設立（令和３年２月～）

- ・ナショナルサイクルルート指定を目指すに当たり、関係者が情報共有、意見交換等を行い、官民が協働して県内サイクルツーリズムを推進。

【参画団体】サイクリスト愛好団体、観光・商工・交通団体、国（河川国道事務所）・市町村、県

（２）「鳥取うみなみロード」整備計画に基づく環境整備の推進（令和５年２月～）

- ・ナショナルサイクルルート指定を目指す「鳥取うみなみロード」（約152km）の指定要件クリアに向けた目標や取組内容を関係者で共有・推進するため「鳥取うみなみロード」整備計画を策定し、走行環境整備や受入環境整備を推進。

【走行環境整備】

- ・交通量1万台／日の区間について、令和7年度秋頃までを目途に交通量の少ない「サブルート」の設定・整備などにより、安全で快適な自転車走行空間の確保を図ることで、走行環境整備要件を達成見込み。

【受入環境整備】

- ・ダイジョウブシステム（サイクルカフェ、サイクリストに優しい宿等）の全県展開をはじめ、ルートの玄関口となるゲートウェイ整備（鳥取砂丘コナン空港 ※米子鬼太郎空港への整備予定）やUDタクシー・サイクルトレイン等の代替移動手段の確保など、すべての受入環境要件を達成。
- ・本県のサイクリング情報を掲載した公式HP（とっとり自転車旅）やSNS（Facebook、Instagram）、ルートマップによる魅力発信とともに、インバウンドに向けた多言語（英語）による発信を実施。



ゲートウェイ整備

【2空港（鳥取・米子）に整備】



サイクルカフェ

【沿線に49施設整備】



サイクリストに優しい宿

【沿線に8施設】

（３）「鳥取うみなみサイクルトレイン」の運行（令和7年4月～）

- ・令和6年度に山陰本線で初めてサイクルトレインの本格運行（期間限定：令和6年10月～12月）を実施。令和7年度には、乗車可能駅や運行ダイヤ、積載自転車台数等を拡大し、冬季を除き、通年で運行予定。

※併せて、サイクルバスの実証など公共交通機関との連携拡大により、周遊促進を図る。